
水戸市環境基本計画 ー第2次ー 実施状況(令和3年度)報告書

生活環境部 環境保全課

計画の概要

1 計画の位置付け

「水戸市環境基本計画(第2次)」は、水戸市環境基本条例第10条に基づき「環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため」の計画として、平成26年3月に策定されました。「水戸市第6次総合計画」を上位計画とした環境施策に取り組んでいくための指針です。

2 計画の範囲

本計画の対象地域は、水戸市全域とします。

【計画の対象範囲】

対象分野	環境要素（キーワード）等
地球環境	地球温暖化, エネルギー利用, オゾン層破壊, 酸性雨
資源循環	廃棄物処理, 資源の枯渇, ごみの処理, リサイクル
水環境	河川・湖沼の水質, 水辺空間, 水の循環
自然環境	生物多様性, 森林・緑地, 公園
生活環境	大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染, 地盤沈下, 騒音, 振動, 悪臭, 有害化学物質, 放射性物質
快適環境	都市景観, 歴史的資源, 快適な暮らし
環境活動	情報提供, 環境学習, 環境教育, 協働

※ 自然災害等の防災に関しては、「水戸市地域防災計画」が扱う範囲とします。

3 計画の期間

本計画は、2014（平成26）年度から2023（令和5）年度までの10年間を計画期間とします。
なお、社会経済情勢や環境を取り巻く状況の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを実施します。

4 年次報告

水戸市環境基本条例第8条に基づき、毎年、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況等について報告書を作成し、公表することとなっております。

5 計画の構成

目指すべき環境像

豊かな水と緑をみんなでつくる
未来へつなぐまち 水戸



計画の実施状況

環境目標1 地球温暖化の防止

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標
	平成24年度 【平成22年度実績】	令和2年度 【平成30年度実績】	令和3年度 【令和元年度実績】		令和5年度 【令和3年度実績】
市域から排出される二酸化炭素量	152.9万t-CO ₂	162.9万t-CO ₂	157.1万t-CO ₂	4.2万t-CO ₂ 増	126.9万t-CO ₂

※ 二酸化炭素量を算出するための数値の公表時期の関係上、報告年度と実績年度にずれが生じる。

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		令和5年度
「メガソーラーみと発電所」の発電能力(市内の家庭及び事業所等の総数)	6.3 メガワット	96.5 メガワット	100.2 メガワット	93.9 メガワット増	100 メガワット
温暖化対策に関する市民意識(温暖化対策度チェックの平均点数)	64.4点	67.0点	66.3点	1.9点増	80点
バスや鉄道などの公共交通機関が充実していると感じている市民の割合(市民アンケート)	31.7%				40%

※ 市民アンケートについては、令和4年度実施

2 主な施策実施状況

(1) 創エネルギーの推進

■ 太陽エネルギーの利用促進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
1. 太陽光発電等の導入の促進	住宅用太陽光発電システム設置に対する補助を252件実施し、個人住宅への導入を促進した。 また、50kW以上の事業用太陽光発電施設について、県のガイドラインに基づき、適正な設置を促進した。	環境保全課
2. 公共施設等への太陽光発電の導入	令和3年度までに64の公共施設等に太陽光発電システムを設置数した。 また、市有財産の事業者への貸付による太陽光発電を27箇所で行った。	環境保全課
3. メガソーラーみと発電所による普及促進	発電容量が3,697kW増加し、延べ100,255kWとなった。 また、市ホームページに、発電容量や二酸化炭素の削減効果等を公表し、太陽光発電の普及を促進した。	環境保全課

■未利用エネルギーの利用推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
4. 新エネルギー利用の調査研究と普及啓発	水素やバイオマス等の新エネルギーについて、調査・研究を行った。	環境保全課
5. 新ごみ処理施設における高効率発電設備の導入	余熱を利用した蒸気タービン発電を行うごみ焼却施設の建設工事が令和元年度に完了した。 発電効率の良い最新設備の導入により、年間約60,985,800kWhを発電し、電力会社からの買電量を削減するとともに、約26,895tの二酸化炭素排出量を削減した。	(新ごみ処理施設整備課)
6. バイオマスエネルギー有効利用の推進	下水処理施設において、消化ガス発電設備による発電を運用継続することで、年間約1,500,000kWhを発電し、電力会社からの買電量を削減するとともに、約680tの二酸化炭素排出量を削減した。	下水道施設管理事務所

(2) 省エネルギーの推進

■ 省エネルギー行動の促進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
7. チームみとエコプロジェクトなどによる省エネ行動の促進	定住自立圏の事業として、構成市町村と連携してエコライフチャレンジを実施し、480世帯が参加した。 また、市内の小学生を対象に、地球温暖化対策度チェックを実施し、省エネ行動を促進した。	環境保全課
8. 環境マネジメントシステム導入の促進	ISO等認証取得の補助を行い、事業者の自主的な環境保全活動を促進した。	商工課
9. 地産地消の普及	地場農産物利用飲食店（水戸美味登録店）及び農産物直売所のPRと募集活動を実施した。 また、市立小中学校給食での地場農産物利用拡大のため、関係機関と協議した。学校給食において、地場農産物の利用は年々拡大しており、水戸市ならではの「特色ある魅力的な献立」のための旬の地場農産物を提供した。	農産振興課
10. エコドライブの促進	市ホームページにより、エコドライブについての情報を発信し、エコドライブのメリット等について情報を広く周知した。	環境保全課

■ 省エネルギー機器の普及促進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
11. 市民・事業者の省エネ機器導入の促進	エコライフチャレンジや地球温暖化対策度チェックを実施し、省エネ機器の導入を促進した。	環境保全課

12. 公共施設の省エネルギー化の推進	市管理防犯灯のLED化に取り組むとともに、防犯灯の維持管理を行っている町内会・自治会等に対し、設置及び交換費用の一部の補助を行うなど、省エネルギー化を推進した。	生活安全課
	LED街路灯を単柱5基、共架式1基設置した。今後も、新設の街路灯についてはLED街路灯の設置を進めていくほか、既存街路灯についても、施設の長寿命化や省エネルギー化を図るため、改修を検討していく。	建設計画課
	共用灯照明器具のLED化を計画通り実施した（桜が丘住宅4棟）。	住宅政策課
13. 建築物の省エネルギー化の促進	省エネルギー性能向上に資する対象建築物について、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく届出の義務化により、内容の審査、指導を行うことで、建築物のエネルギー消費量を抑制させた。	建築指導課
14. 次世代エコカー等の普及促進	電気自動車用急速充電器の継続使用及びハイブリッド車の積極的な使用により、次世代自動車普及促進を図った。 また、公用車として、ハイブリッド車を1台購入した。	財産活用課
	総合運動公園市民球場及び市立競技場に設置した電気自動車急速充電設備の利用促進を図り、次世代自動車の普及に努めた。 また、市ホームページに、次世代自動車に関する情報や市施設に設置されている電気自動車充電設備の情報を集約し、普及促進を図った。	環境保全課

(3) 低炭素まちづくりの推進

■ 交通体系における低炭素化の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
15. 公共交通機関の利用促進	ノーマイカーウィークの実施、「みとバスMAP」の更新など、公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に利用する状態への行動変容を促し、過度な自動車利用を抑制した。	交通政策課
16. 自転車の利用促進	自転車通行空間整備やノーマイカーウィークにおける自転車利用の呼びかけにより、自転車通行空間の整備を実施した。	交通政策課
	水戸駅及び赤塚駅周辺に自転車等駐車を6施設設置しており、駅利用を中心とした自転車利用者に対し、利便性の向上を図り、自転車利用を促した。 また、指定管理者による利用者への各種サービスの提供により、自転車等駐車場を利用しやすい環境が整い、継続して利用する方も多く、自転車の利用促進に寄与した。	生活安全課
	公務用として、自転車を職員に貸出し、自転車の利用促進を図った。公用車の代わりに自転車を利用することで、ガソリンの使用量を削減し、二酸化炭素の排出量の削減に努めた。	環境保全課

17. 都市交通の円滑化の推進	ノーマイカーウィークの実施、「みとバスMAP」の更新など、公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に利用する状態への行動変容を促し、過度な自動車利用を抑制した。	交通政策課
	道路新設改良事業を継続し、集中する交通の分散を図り、都市交通の円滑化を推進した。	建設計画課

■ 地域特性を踏まえた都市機能の集約

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
18. 魅力・活力集積型の都市空間整備	都市計画道路の整備により、効率的かつ効果的に各拠点の機能や魅力の向上、集積が図られるよう事業を推進した。	建設計画課
	水戸市都市計画マスタープラン(第2次)に位置付けた施策を推進した。 また、都市機能の集積や居住の誘導を促進するため、都市機能の立地に関する立地適正化計画に基づき、適正な土地利用を誘導し、環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の形成を図った。	都市計画課
19. 低炭素まちづくりの推進	水戸市都市計画マスタープラン(第2次)に位置付けた施策を推進した。 また、都市機能の集積や居住の誘導を促進するため、都市機能の立地に関する立地適正化計画に基づき、適正な土地利用を誘導し、環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の形成を図った。	都市計画課

(4) その他の地球環境の保全

■ オゾン層の減少や酸性雨への対応

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
20. オゾン層保護への対応	市ホームページやごみ分別パンフレットで、家電リサイクル法の周知を行うことにより、家電4品目の適正処分を促進した。	ごみ減量課
	市有地に不法投棄された冷蔵庫やエアコンを回収し、適正な処理を行った。不法投棄の防止について、広報みと及び市ホームページで啓発を図った。	廃棄物対策課
21. 酸性雨対策の推進	酸性雨調査を実施した(結果、酸性雨は確認されなかった)。 また、大気の時常監視を実施し、大気中の硫黄酸化物、窒素酸化物の排出実態を確認した(結果、環境基準以下であった)。	環境保全課

環境目標2 循環型社会の構築

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		令和5年度
1人1日当たりのごみの減量率（平成12年度比）	19.7%	28.6%	27.8%	8.1%pt増	25%以上
リサイクル率	17.2%	27.2%	27.2%	10%pt増	25%以上
不法投棄箇所数（年間通報箇所）	137箇所	169箇所	102箇所	35箇所減	80箇所
ごみの収集・処理や減量化・再資源化の対策に満足している市民の割合（市民アンケート）	49.6%				55%

※ 市民アンケートについては、令和4年度実施

2 主な施策実施状況

(1) ごみの発生抑制の促進

■ ごみの発生抑制の促進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
22. 総合的な廃棄物対策の推進	水戸市ごみ処理基本計画(第3次)の施策に取り組んだ。	ごみ減量課
23. 家庭ごみの減量化の促進	食品ロス削減に関する行動指針で掲げた目標指標の達成に向け、施策に取り組んだ。また、剪定枝をチップ化する粉砕機の無償貸出により、年間で3,669kgのごみ減量に繋がった。	ごみ減量課
24. 生ごみ処理機器の普及促進	生ごみ処理機及び生ごみ処理容器購入費の補助を実施した。前年と比較し、生ごみ処理容器購入に対する補助は57器、生ごみ処理機購入に対する補助は26基増加した。	ごみ減量課
25. 事業系ごみの排出削減の啓発	不適正な排出を行っている事業所に対し個別指導を行った。	ごみ減量課
26. エコ・ショップの加入及び利用の促進	市ホームページでエコ・ショップの募集を行い、加入促進を図るとともに、当該店の利用を促進した。	ごみ減量課
27. レジ袋削減の推進	レジ袋削減の取組みに関する協定締結は10事業者32店舗、レジ袋辞退率は約83.7%であった。 また、「みとコンビニスタイル24時間(MCS24)」を推進した。	ごみ減量課

(2) 資源循環の推進

■ ごみの資源化の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
28. 資源物回収システムの充実	使用済小型電子機器等(小型家電)の拠点回収を実施した。今後は拠点を増やすとともに、イベントにおける回収など、回収機会を拡大する必要がある。	ごみ減量課
29. リサイクル活動の促進	市内で活動する消費者団体のリサイクル活動の支援を行った。また、NPO 法人フードバンク茨城との連携により、水戸市消費生活センター内に、「きずなBOX」を設置するなど、地球環境問題とともにリサイクルの大切さを呼び掛けた。	市民生活課
	再生品のPR及び資源回収を実施し、リサイクル活動を促進した。	ごみ減量課
30. リサイクルセンターの整備	びん、缶、ペットボトル、白色トレイ、プラスチック製容器包装等の分別収集に対応できる、リサイクルセンターの建設工事が令和元年度に完了した。	(新ごみ処理施設整備課)

(3) 廃棄物の適正な処理の推進

■ 適正処理の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
31. ごみの適正な分別・処理の推進	「資源物とごみの分け方・出し方」及び「ごみ収集カレンダー」の作成し、郵便局との包括連携協力等により配布するとともに、市公式LINEを活用し、ごみの分別及び排出方法の周知を行った。	ごみ減量課
32. 新ごみ処理施設等の整備	令和2年度に一般廃棄物第三最終処分場建設工事が完了した。	清掃事務所
33. 不適正なごみ焼却の防止	ごみの野外焼却の通報時に、現場へ赴き、行為者への指導を適切に行った。今後、ごみの野外焼却禁止について、広報みと及び市ホームページだけでなく、SNSの活用を検討する。	廃棄物対策課

■ 不法投棄の対策の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
34. 不法投棄防止対策の充実	不法投棄の被害が多い地域を対象として、監視カメラや看板を設置し、不法投棄の抑止に努めた。 また、不法投棄防止協力員による地域内の巡回や不法投棄を発見した際の通報により、不法投棄の早期発見・早期解決に努めた。	廃棄物対策課

環境目標3 親しまれる河川・湖沼づくり

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		令和5年度
河川の生物化学的酸素要求量 (BOD) に係る環境基準※1の達成率	7河川/8河川	8河川/8河川	8河川/8河川	1河川増	8河川/8河川
	未達成河川	-	-		
千波湖における化学的酸素要求量 (COD) (千波湖中央のCOD夏季の最大値)	26 mg/ℓ (9月) (平成22年度)※2	19 mg/ℓ (8月)	25 mg/ℓ (9月)	1.0 mg/ℓ減	8.0 mg/ℓ
	最小値	4.4 mg/ℓ (7月)	5.6 mg/ℓ (12月)		
	年平均値	9.7 mg/ℓ	11 mg/ℓ		
生活排水処理総合普及率 (公共下水道や農業集落排水、合併浄化槽等により、生活排水を適正に処理できる人口の割合)	87.2%	92.2%	92.7%	5.5%pt増	95%

※1 【環境基準 (BOD)】

A 類型 (2 mg/ℓ以下)	那珂川	藤井川	石川川
B 類型 (3 mg/ℓ以下)	湊沼川	湊沼前川	
C 類型 (5 mg/ℓ以下)	桜川	逆川	沢渡川

※2 平成23～24年度は震災による導水量の減少により異常値となったため、平成22年度の値を記載

2 主な施策実施状況

(1) 河川・湖沼の水質浄化

■ 生活排水対策の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
35. 公共下水道事業の推進	河和田幹線、渡里幹線等の幹線工事及び河和田町、大塚町、見川町、平須町、米沢町、酒門町、杉崎町等の面整備を行った。下水道普及率は79.9%となり、前年度から0.3%pt増加した。	下水道管理課
36. 農業集落排水事業の推進	管路敷設工事2件、中継ポンプ施設工事1件を実施し、農業用水等の水質保全に努めた。	集落排水課
37. 合併処理浄化槽の設置促進	下水処理が困難な地域における生活排水対策として、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽の撤去に対する補助を実施した。水戸市全域における生活排水処理総合普及率は、前年度末と比較し、92.20%から92.72%に向上した。	衛生事業課

■ 千波湖の水質浄化

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
38. 水質浄化対策の推進	「桜川清流ルネッサンスⅡ」の計画に基づき、千波湖の水質改善及びアオコ対策として、河川からの導水、ジェットストリーマーの運転等を実施した。 千波湖におけるCODは、年平均値で11mg/lであった。	公園緑地課

(2) 親しまれる水辺環境の創造

■ 水辺の整備

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
39. 自然景観・生態系に配慮した整備	ホタル生息地である、大井戸ほたるの里（阿川湧水）の整備を市民との協働により実施するなど、自然景観・生態系に配慮したホタル生息地の整備を行った。	環境保全課
	富士池地区ため池整備を実施した。既存植生の存続が不可能であるため、景観的な配慮は今後検討が必要である。	農業環境整備課
40. 偕楽園公園（千波公園等）の整備	レイクサイドボウル跡地駐車場の供用開始に向け、整備を実施した。	公園緑地課
41. 市民主体のビオトープづくりの推進	千波湖環境学習会において、市民・事業者との協働でビオトープの整備を実施した。	環境保全課
	千波湖水質浄化推進協会において、造成したビオトープの修繕及び拡張を行った。市民協働により、千波湖の水質浄化対策を推進した。	公園緑地課

■ 水辺の美化・清掃の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
42. 河川敷等の美化・清掃活動の促進	市民・事業者等と協力し、桜川水系クリーン作戦を実施した。約100人が参加し、可燃ごみ40kg及び不燃物110kgのごみを回収した。	環境保全課
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、那珂川水系クリーン作戦は中止した。 また、独自に那珂川の清掃活動を実施する地域団体については、物品を支給した。 今後、国や近隣自治体とともに、那珂川水系クリーン作戦の実施方針について、検討していく必要がある。	河川都市排水課

(3) 水の循環と有効利用の促進

■ 水を大切にす意識の醸成

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
43. 地下水かん養の促進	自然植生回復のため、森林公園で植樹祭を実施した。 また、木々の健全な育成のため、平地林保全に係る下刈り、間伐を実施し、水源かん養機能等の森林の公益的・多面的機能の維持と森林環境の保全を図った。	農政課
	貯留能力の経過観察及び整備効果の検証を行った。近年の集中豪雨多発化による雨水流出量の再評価が必要である。	建設計画課

44. 雨水利用の促進	雨水貯留槽等設置の補助（24件）を行い、雨水の有効活用を促進した。	環境保全課
45. 節水についての意識啓発	小学生向け小冊子「水戸の水道」において、普段の暮らしの中で水を上手に工夫して使用方法を掲載し、節水意識の向上を図るとともに、貴重な水資源への理解を促進した。	水道総務課

環境目標4 自然環境の保全と共生

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	前年値	基準値からの増減	目標
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		令和5年度
市内の都市公園の面積	297ha	313.6ha	313.5ha	16.5ha 増	330ha
エコファーマー(環境にやさしい農業に取り組む農業者)の登録者数	214人	109人	105人	109人減	270人
自然や緑に囲まれたまちづくりに満足している市民の割合(市民アンケート)	48.2%				55%

※ 市民アンケートについては、令和4年度実施

2 主な施策実施状況

(1) 緑の創出と活用

■ 公園・緑地などの創出

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
46. 公園・緑地の計画的な整備	東部公園(仮称)、保和苑、七ツ洞公園等の整備を進めた。また、公園施設長寿命化計画によるリニューアル整備、改修工事を実施した。	公園緑地課
47. 偕楽園公園(千波公園等)の整備(再掲)	レイクサイドボウル跡地駐車場の供用開始に向け、整備を実施した。	公園緑地課
48. 身近な緑の創出	生垣の設置に対する補助を実施し、緑の創出を促進した。また、保存樹等の指定及び奨励金の支給により、貴重な樹木や樹林の保全を図った。	公園緑地課

(2) 多様な生物を育む環境の保全

■ 自然緑地・農地の保全

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
49. 市民との協働による緑の保全	市街地北側の特別緑地保全地区について、所有者や地域住民との連携しながら保全を推進した。また、保存樹等の指定及び奨励金の支給により、貴重な樹木や樹林の保全を図った。	公園緑地課
50. 森林公園の保全と活用	森林公園内の平地林の保全に係る下刈り、間伐やアカマツ群生地に松くい虫防除に係る薬剤地上散布、伐倒駆除及び薬剤樹幹注入、ナラ枯れ被害調査及伐倒駆除を実施した。	農政課

51. 農地の保全	活動組織の構成員による共同活動を通じ、農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的に、地域活動組織へ助成を行った。	農政課
	県と連携し、環境にやさしい農業に取り組む農業者（エコファーマー）の育成を推進した。 エコファーマーは、認定手続きが煩雑な上、価格プレミアムが付かず、農家にメリットが少ないため、販売農家が年々減少している。	農産振興課

■ 生物多様性の保全対策の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
52. 水辺の生態系の保全	ホタルの再生・保全計画に係る生息環境調査、サケの遡上及び備前堀の良好な景観維持を両立する事業等を実施した。	環境保全課
	昨年度整備した七ツ洞公園がホタル等の生息に寄与できるか地元住民と連携を取りながら経過観察した。 今後、地元住民と調整を図りながら施策を検討する。	公園緑地課
53. 自然環境調査・自然観察会の実施	自然観察会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	文化交流課
	サケやホタルの生息状況を調査し、保護するために必要な情報の収集に努めた。 また、千波湖環境学習会に対する補助を行い、学習会において、自然に親しみ大切にする意識を広く啓発した。	環境保全課
	森林公園の豊かな自然環境を生かした自然体験（3回）や自然観察会（1回）を実施した	農政課
54. 野生鳥獣の適切な保護	有害鳥獣の及ぼす、生活被害や農業被害への影響を軽減するため、有害鳥獣捕獲を27件許可した。	環境保全課
	有害鳥獣であるイノシシの対策として、捕獲隊による捕獲及び電気防護柵設置に対する補助を行うことで、農作物被害を軽減し、農業の安定化を図った。	農産振興課

環境目標5 良好な生活環境の確保

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		令和5年度
大気汚染に係る環境基準適合状況（二酸化硫黄，一酸化炭素，浮遊粒子状物質，二酸化窒素）	適合	適合	適合	—	適合
光化学オキシダント注意報の年間発令日数	0日	0日	0日	—	0日
道路交通騒音に係る環境基準達成率	100%	100%	100%	—	100%
公害・環境対策に満足している市民の割合（市民アンケート）	22.8%				30%

※ 市民アンケートについては、令和4年度実施

2 主な施策実施状況

(1) 大気環境の保全

■ 大気環境の監視

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
55. 大気汚染の監視	市内3箇所の測定局での測定により、大気の常時監視を行った。観測の結果、概ね環境基準をクリアした。 また、光化学オキシダント及びPM2.5の注意喚起体制を構築した。	環境保全課

■ 発生源対策の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
56. 工場・事業場の調査と指導	大気汚染防止法に基づく特定施設に係る届出の受付及び審査を実施した。また、特定施設を設置1事業所に立入調査をし、施設の適正な運営について確認、指導を行った。	環境保全課
57. 不適正なごみ焼却の防止(再掲)	ごみの野外焼却の通報時に、現場へ赴き、行為者への指導を適切に行った。今後、ごみの野外焼却禁止について、広報みと及び市ホームページだけでなく、SNSの活用を検討する。	廃棄物対策課
58. 公害防止協定の締結	大気環境の保全について、事業者が公害防止協定を適切に履行するよう指導した。	環境保全課

(2) 水環境の保全

■ 水環境の監視

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
59. 公共用水域の水質監視	16 河川・2 湖沼の水質調査を実施し、水質の分析結果を市ホームページで公表した。	環境保全課

■ 発生源対策の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
60. 工場・事業場への監視と指導	水質汚濁防止法に基づく特定施設を設置する4事業所に立入調査をし、施設の適正な運営について確認、指導を行った。	環境保全課
61. 公害防止協定の締結	水環境の保全について、事業者が公害防止協定を適切に履行するよう指導した。	環境保全課

■ 生活排水対策の推進(再掲)

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
62. 公共下水道事業の推進(再掲)	河和田幹線、渡里幹線等の幹線工事及び河和田町、大塚町、見川町、平須町、米沢町、酒門町、杉崎町等の面整備を行った。下水道普及率は79.9%となり、前年度から0.3%pt増加した。	下水道管理課
63. 農業集落排水事業の推進(再掲)	管路敷設工事2件、中継ポンプ施設工事1件を実施し、農業用水等の水質保全に努めた。	集落排水課
64. 合併処理浄化槽の設置促進(再掲)	下水処理が困難な地域における生活排水対策として、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽の撤去に対する補助を実施した。水戸市全域における生活排水処理総合普及率は、前年度末と比較し、92.20%から92.72%に向上した。	衛生事業課

(3) 土壌環境の保全

■ 土壌環境の監視

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
65. 地下水水質の監視	地下水概況調査5箇所、井戸水モニタリング調査8箇所、湧水水質調査10箇所を実施した。	環境保全課

■ 発生源対策の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
66. 土壌汚染の拡大防止の指導	土壌汚染対策法に基づく形質変更届出の受付及び審査(32件)を実施した。調査命令や要措置区域の指定等の実施はなかった。	環境保全課

(4) 騒音・振動・悪臭の防止

■ 騒音の監視

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
67. 自動車騒音の監視	一般道8路線，高速道路4地点で自動車騒音調査を実施した。いずれも要請限度内であった。	環境保全課

■ 発生源対策の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
68. 工場・事業場への監視と指導	騒音・振動・悪臭に関する苦情申立てにより，発生源である事業所に立入調査を実施し（37件），法令遵守について指導した。	環境保全課
69. 公害防止協定の締結	騒音・振動・悪臭の防止について，事業者が公害防止協定を適切に履行するよう指導した。	環境保全課

■ 身近な公害の防止

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
70. 近隣騒音・悪臭の防止対策の推進	生活騒音等の相談について，発生源者に配慮をお願いするなどの対応を実施した。	環境保全課

(5) 有害な化学物質等への対応

■ 有害化学物質の発生抑制

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
71. 有害化学物質の監視	有害大気汚染物質モニタリング及びダイオキシン類調査を実施した。	環境保全課
	建設リサイクル法届出書を受理し，アスベストの有無を確認し，有の場合は，適正な処理を促した。	建築指導課

■ 放射性物質への対応

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
72. 原子力災害への対策	原子力所在地域首長懇談会等において，周辺自治体と連携し，安全対策を推進した。 原子力に関する知識の普及・啓発として，市民センター17箇所への原子力関連DVDの配備等を行った。 原子力災害に備え，実効性のある広域避難計画策定に向けた広域避難先自治体や各種関係機関との協議を継続した。 試験研究炉施設に係る避難計画の策定及び地域住民への周知・啓発を実施した。 他地域において原子力災害が発生した際における避難者受け入れ計画の素案を作成した。	防災・危機管理課

73. 空間放射線量等の監視	<p>公共施設等の空間放射線量を測定し（666箇所）、結果を公表するとともに、市民からの申請に基づく、個人宅の測定を実施した。</p>	<p>防災・危機管理課</p>
	<p>第二最終処分場の空間放射線量等を測定監視し、測定結果を情報公開することにより、市民の不安軽減に努めた。</p>	<p>清掃事務所</p>
	<p>本市農林産物の放射性物質検査（298件）を実施することにより、安全性の確認とその周知を図ることができた。 また、森林公園・ふるさと農場の空間放射線量を計測した。</p>	<p>農政課</p>

環境目標6 快適な環境の保全・創出

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標 令和5年度
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		
都市景観重点地区指定（総数）	1地区	2地区	2地区	1地区増	3地区
補助制度により整備された生垣の延長	9,913m	11,209.8m	11,315.2m	1,402.2m増	14,000m
まちなみや景観などの整備に満足している市民の割合（市民アンケート）	26.3%				50%

※ 市民アンケートについては、令和4年度実施

2 主な施策実施状況

(1) 良好なまちなみの形成

■ 都市空間における緑の創出

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
74. 街路樹等の整備	道路の利用状況を考慮しながら、道路整備にあわせた街路樹等の整備を検討した。	建設計画課
75. 身近な緑の創出(再掲)	生垣の設置に対する補助を実施し、緑の創出を促進した。また、保存樹等の指定及び奨励金の支給により、貴重な樹木や樹林の保全を図った。	公園緑地課

■ 魅力ある景観等の形成

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
76. 良好な景観の形成	大規模建築物等の届出等による景観誘導、風致地区における許可等による自然的景観の保全、屋外広告物の適正化、高度地区による高さ規制等を実施し、良好な景観形成を図った。	都市計画課
	建築協定の申請を受理し、内容の審査、認可を行っている。所有者等からの申請はなかった。	建築指導課
77. 魅力ある道路景観の形成	周辺景観を考慮しながら、道路整備にあわせた無電柱化の必要性を検討した。	建設計画課
	市が整備する道路やサインについて、水戸市公共施設景観形成ガイドラインや水戸市サインマニュアル等に基づき助言を行った。また、道路沿道において、建築物、屋外広告物等の規制誘導を行った。	都市計画課

78. 人と環境に配慮した施設の整備	茨城県ひとにやさしいまちづくり条例に基づく特定公共的施設新築等工事届出を7件受理した。 建築計画課と連携し、申請が必要な建物について、申請するよう周知を図った。	福祉総務課
79. 都市景観重点地区の指定	主に「都市景観重点地区」を対象とした「水戸市都市景観形成補助金交付要項」に基づき、民間資本による景観形成の推進を図った。	都市計画課

(2) 歴史と文化の活用

■ 歴史的資源の保全と活用

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
80. 文化財等の適切な保護、保存、活用	二の丸角櫓アプローチが完成し、平成26年度策定の「弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想」に位置付けた整備がすべて完了した。 しかし、角櫓までの通路が長く歩きづらいとの意見が多数寄せられているため対応を検討する。	歴史文化財課
81. 世界遺産登録に向けた取組の推進	教育遺産世界遺産登録推進協議会との共催で外部有識者と協議会委員を招き、世界遺産登録推進フォーラム『近世日本の教育遺産群を世界遺産に』を開催するとともに、協議会委員と民間業者との協働で検討状況報告書概要版の英語版刊行に向け、翻訳作業を行った。 また、近世日本の教育遺産群の概要や本市と協議会の活動を説明する講座を開催した。	歴史文化財課

(3) 清潔で、快適な暮らしの維持

■ 環境美化活動の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
82. 身近なまちの美化	空き缶等ポイ捨て防止啓発看板、飼い犬のふん害等防止啓発看板及びチラシを無料配布するとともに、条例に基づく、巡回指導を行った。	環境保全課
83. 安心して快適なまちの維持	適正な管理がなされていない空家等・空地について、所有者等への行政指導を実施し、管理不全な空家等・空き地の改善を図った。近年は、相続放棄や所有者不明の案件が増えており、対応に苦慮している。 また、放置自転車の撤去及び指導を実施し、年々、放置自転車台数は減少に寄与した。	生活安全課
84. 地域による美化活動の支援	花壇コンクールを実施し、各地区の各種団体等の優れた花壇を表彰した。花壇コンクールを通して、地域に環境美化の意識が高まった。	市民生活課
	はなふる応援隊による、はなふる講座を開催した（3回）。 また、はなふるたうん事業補助金を5団体に交付した。	公園緑地課

環境目標7 環境活動と環境教育の充実

1 指標の達成状況

環境指標	基準値	前年値	現況値	基準値からの増減	目標 令和5年度
	平成24年度	令和2年度	令和3年度		
水戸市ホームページの環境情報のアクセス件数	約28,000件	57,309件	— (※)	—	40,000件
観察会・学習会などへの参加者数(年間)	1,200人	1,031人	1,165人	35人減	2,000人
環境フェアへの参加者数	6,000人	中止	中止	—	10,000人
環境に関する活動を行う市民団体の数	18団体	26団体	26団体	8団体増	30団体

※ ホームページのリニューアルに伴い、算出不可

2 主な施策実施状況

(1) 市民・事業者との協働による環境保全

■ 環境保全活動の啓発

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
85. 環境イベントによる意識の醸成	新型コロナウイルス感染症対策のため、大規模なイベントは開催せず、環境保全活動を行っている団体等の紹介により、市民の環境意識醸成を図った。	環境保全課
	ごみゼロの日キャンペーンを実施し(啓発品の配布)、ゴミの減量及びリサイクル意識の醸成を図った。	ごみ減量課
	「いばらき都市緑化フェスティバル」を実施し、来場者数は1,800人であった。 新型コロナウイルス感染対策を講じながら、事業者等による体験教室や緑化意識啓発の広報を実施し、緑化意識の醸成を図った。	公園緑地課
86. 環境保全活動への参加の促進	定住自立圏事業で作成した「茨城県央地域環境活動ガイドブック」を配布し、行政、市民団体等が行っている環境保全活動や学習会等の情報を広く発信した。	環境保全課

■ 市民・事業者・行政の連携の推進

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
87. 協働による環境保全の推進	「第10回記念こみっとフェスティバル2022」において、環境保全に取り組む市民活動団体の活動発表及び展示を行い、意見交換の機会を創出した。	市民生活課
	協働事業である千波湖環境学習会を実施し、事業者との連携を深めるとともに、参加者に対し環境意識の醸成を図った。	環境保全課

88. 事業者の環境配慮行動の促進	産業活性化コーディネーターと連携し、茨城県中小規模事業所省エネルギー診断や茨城県中小規模事業所省エネ対策設備導入補助金等を活用した環境配慮行動の促進を図った。	商 工 課
-------------------	---	-------

(2) 環境教育による地域づくり・人づくり

■ 環境情報の広報活動の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
89. 環境情報の集約と発信	定住自立圏事業で作成した「茨城県央地域環境活動ガイドブック」を配布し、行政、市民団体等が行っている環境保全活動や学習会等の情報を広く発信した。 また、水戸の自然をまとめた「みとの自然ガイドBOOK」を有償頒布（292冊）するとともに、市ホームページで環境情報動の発信をするなど、環境情報の集約と発信に努めた。	環境保全課

■ 環境教育の充実

主な取組	令和3年度事業実績及び事業の課題等	担当課
90. 学校教育における環境教育の推進	副読本「水戸の川」の活用、地球温暖化対策度チェック及びいきいき出前講座の実施を通し、学校教育における環境教育の推進を図った。	環境保全課
	理科、水戸まごころタイム・ESD（持続可能な開発のための教育）等の時間を通して、身の周りの地域や自然に直接関わる体験的な活動を取り入れた。こうした体験を通じて、自然環境を大切にし、その保全に寄与しようとする態度等を育成した。	教育研究課
91. 生涯学習における環境教育の推進	森林公園の豊かな自然環境を生かした自然体験（3回）や自然観察会（1回）を実施した	農 政 課
	みと好文カレッジ及び市民センターにおいて、環境に関する講座を開催（27回）し、環境教育を推進した。	生涯学習課
	博物館において自然観察会（3回）を実施した。自然観察会を実施することで、環境教育を推進することができた。	歴 史 文化財課
92. 環境教育や環境学習を推進する人材の確保と支援	環境保全団体等が開催する環境啓発事業等への支援を行うとともに、各団体等と連携を図りながら、環境教育や環境学習を推進する人材の確保に努めた。	環境保全課
93. 環境教育拠点整備の検討	清掃工場えこみっと管理啓発棟内の環境ギャラリーにおいて、環境フェアや特定外来生物（オオキンケイギク）等のポスターを掲示するなど、環境教育の啓発を図った。	環境保全課